

すわ学びの曳行

5月の定期総集会、8月の会員研修会が中止となりました。予定していた「総合的な学習の時間委員会」と「登山の栞委員会」の発表を楽しみにしていたという会員の声に応え「すわ学びの曳行」と題して2回の公開講座を行いました。



第1回 総合的な学習の時間委員会 9月11日(金)

「諏訪の未来創造のために、つながる人とつながっていく教科の学習」

総合的な学習の時間委員会の先生方の実践の中から、4名の先生に実践発表をしていただきました。テーマは「諏訪湖環境改善」「境きのご調査隊」「お蚕様の実践を通して」「賢い消費者・生産者・販売者・接客」。諏訪ならではの実践を通して、現地調査の大切さ、教科横断的な視点、学習展開のポイントなどを学ぶことができました。



子どもたちが様々な困難を乗り越えていく様子が伝わってきました。本校も総合的な学習の時間に取り組んでいますが、もっと横断的な考え方を取り入れていいのかなと、ヒントをもらいました。



子どもたちだけでなく、先生方もウキウキしながら総合の授業に取り組まれているからこそ、探求心を芽生えさせたのだらうなと思いました。

課題やねらいをもつ、現地に出向く、現地で調査や活動をする、専門家の話を聞く等の大切さを改めて感じることができました。教科等横断的な視点での研究発表も、とても参考になりました。

第2回 登山の栞委員会 10月13日(木)

「八ヶ岳の魅力・登山の楽しさ」



美しい写真やエピソードをふんだんに取り入れ、登山することのみでなく、花々、樹木、美しい風景、山小屋のイベント、集う人々など、八ヶ岳の魅力をつぶりと感じることができました。委員の先生方が実地調査をして編集をしている登山の栞『八ヶ岳』は、そんな魅力がぎゅっと詰まった1冊です。

個人的には、「山小屋・温泉」情報がとても楽しく聴かせていただきました。栞「八ヶ岳」は登山がより身近なものとなるため、「半日コース」の紹介、さらに「どの花がどの辺りで咲くのか」は大変参考になります。



写真が美しく、発表から皆さんの感動が伝わってきたと思いました。楽しみ方がたくさんあることがわかって、花、お風呂、ながめ、朝や夕、興味深く聞きました。

八ヶ岳の魅力を学ばせていただきました。時間を作って登ってみようと思います。でも、やはり、委員の先生方と一緒に登るのが一番だと感じたので、来年の研修があれば、参加させていただきたいと思います。

第375回 諏訪季節大学会 「ロボット技術と未来社会」

千葉工業大学未来ロボット技術研究センター所長 古田貴之先生

10月16日(金) 諏訪教育会館

「ものづくり」から「ものごとづくり」へ

人工知能を搭載する最先端のロボットの開発を手がけながらも、自らの本職を「父親」という古田先生。我が娘が将来幸せに暮らせるためには、まわりのすべての人が幸せにならないといけない。そのために一生懸命働いていると。

移動用スクーター、買い物カートなど、利用シーンに応じて4種類の形態にトランスフォームするロボットや階段を登れるお掃除ロボットなどを開発し、ロボット技術の第一人者でありながら、めざす未来社会は「あらゆる世代の人が快活に活動する社会、心と心の再生」と話す。目指すのは「ものごとづくり」。

最後に、「テクノロジーは生ものなので10年で腐ってしまう。教育は永遠に続いていくもの。教員はそれに携われる素晴らしい仕事」と、エールをいただきました。

第376回 諏訪季節大学会 11/18(水)開催

日本画家・古代史研究家 川崎日香湊先生

「諏訪地域の新しい歴史ロマン

- 古事記の神、沼河姫と建御名方神を追う」

午後3時～4時20分 諏訪教育会館

平坦、中・南諏の先生方対象です

第83回赤彦祭 10月3日(土)



郷土の歌人で教育者でもあった島木赤彦先生をしのび、歌碑が建つ富士見公園で赤彦祭が行われました。コロナ対策により参加者が限られる中、諏訪教育会からは、小林会長、河口副会長、溝口幹事長、小野研修部長の4名が参加しました。

碑前祭では献花、記念短歌展の入選者の発表がありました。小学生の部230首、中学生の部237首、一般の部22首の中から、それぞれ10名ほどの入選者がありました。

例年では、碑前祭後に赤彦先生の歌に親しむ集いが開催されますが、今年は残念ながら中止となりました。(12月の諏訪会報に赤彦の句を紹介します。)



第4回社員総会 10月19日(月)

協議

- (1) 令和2年度 諏訪教育会事業等中間報告
各部中間報告
中間会計報告
- (2) 諏訪教育会の今後の展望を語る会実施計画
- (3) 教職員バスケットボール大会実施計画
- (4) あり方委員会アンケート結果と考察

連絡

- (1) 来年度諏訪教育会定期総集会について
- (2) 今年度及び来年度の季節大学会について



教職員バスケットボール大会 開催中止

昭和29年に始まり、67回の開催を重ねてきた諏訪郡市教職員バスケットボール大会について、本年度は中止とすることが報告されました。感染防止対策を施しても密を避けられないこと、運営を手伝う中学生への感染リスクがあることなどが理由です。今後は、各学校で職員間の親睦を深めたり、感染予防対策をしたりして来年度の開催につなげて行きましょう。